

ハローワーク山口の雇用情勢 (令和5年9月分：5年10月発行)



主要指標

有効求人倍率	有効求人数	有効求職者数
1.78倍 前月比0.07P上昇	4,726人 前月比3.5%増加	2,654人 前月比0.6%減少

新規求人倍率	新規求人数	新規求職者数
3.15倍 前月比0.21P上昇	1,836人 前月比15.9%増加	583人 前月比8.2%増加

正社員有効求人倍率	山口市の有効求人倍率
1.44倍 前月比0.09P上昇	1.95倍 前月比0.06P上昇



令和6年3月新規高等学校卒業者の就職内定状況（令和5年9月末現在）

求人数	求人倍率	就職内定率	県内就職比率【参考値】
773人 対前年14.2%増加	3.66倍 対前年0.02P上昇	65.4% 対前年0.2P下降	92.0% 対前年2.3P下降

※「県内就職比率【参考値】」とは、就職内定者に対する県内就職内定者の比率である。

各機関による県内経済の判断

◎雇用情勢（令和5年10月31日：山口労働局）

県内の雇用情勢は、持ち直しの動きが続く中、求人が求職を上回って推移している。

（13か月連続で判断維持）

◎山口県金融経済情勢（令和5年10月2日：日本銀行下関支店）

県内景気は、持ち直している。

◎山口県内の経済情勢（令和5年10月25日：財務省中国財務局山口財務事務所）

県内経済は、緩やかに回復しつつある。

◎用語の解説

○新規求人数

期間中に新たに受け付けた求人数（採用予定人員）をいう。

○月間有効求人数

前月から繰り越された有効求人数（前月末日現在において、求人票の有効期限が翌月以降にまたがっている未充足の求人数をいう。）と当月の「新規求人数」の合計数をいう。

○新規求職申込件数

期間中に新たに受け付けた求職申し込みの件数をいう。

○月間有効求職者数

前月から繰り越された有効求職者数（前月末日現在において、求職票の有効期限が翌月以降にまたがっている就職未内定者の求職者数をいう。）と当月の「新規求職申込件数」の合計数をいう。

○求人倍率

求職者に対する求人数の割合を言い、「新規求人数」を「新規求職者申込件数」で除して得た「新規求人倍率」と、「月間有効求人数」を「月間有効求職者数」で除して得た「有効求人倍率」の2種類がある。

○正社員

パートタイムを除く常用のうち、勤め先で正社員、正職員などと呼称される正規労働者を言う。

○山口市の有効求人倍率【試算値】

就業地が山口市内の月間有効求人数を山口市内の月間有効求職者で除して得た求人倍率をいう。

【参考】県内ハローワークの有効求人倍率（倍）（注）山口県の数値は季節調整値である。

	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月
山口	1.40	1.55	1.63	1.71	1.78
下関	1.50	1.51	1.61	1.58	1.58
宇部	1.44	1.46	1.56	1.53	1.59
防府	1.11	1.17	1.25	1.19	1.20
萩	1.42	1.45	1.44	1.43	1.45
徳山	1.28	1.31	1.32	1.45	1.45
下松	1.31	1.37	1.43	1.44	1.48
岩国	1.22	1.27	1.31	1.32	1.35
柳井	1.18	1.20	1.33	1.34	1.36
山口県	1.48	1.47	1.50	1.49	1.51

